

教員養成の目標及び当該目標を達成するための計画

教育学部

■教員養成の目標及び当該目標

教育学部は、教育者としての総合的な資質能力及び教育実践力を育成することを大きな目標に掲げている。特に、学校教育教員養成課程にあつては、豊かな人間性と教職への強い使命感を持つとともに、社会の変化やニーズを適切に踏まえ、学校教育が抱えるさまざまな現代的教育課題に協働して対処することのできる、専門的知識と実践的指導力を備えた教員を養成（計画養成）することを目的としている。専門的な知識や技能の習得を踏まえ、教育実践に生かす方法の習得を重視するため、教職及び教科の学習を深めるとともに、教育実践に関する学習（教材研究・授業研究・教育実習体験など）を重視している。

◆学校教育教員養成課程

豊かな人間性と教職への強い使命感をもつとともに、社会の変化やニーズを適切に踏まえ、学校教育が抱える様々な現代的教育課題に協働して対処することのできる、専門的知識と実践的指導力を備えた教員を養成する。

（１）幼児教育コース

幼児教育コースは、乳幼児の健全な成長にふさわしい豊かな保育環境を創ることのできる教員を養成する実践的・総合的なカリキュラムからなる。人間の生涯にわたる発達と教育についての幅広い知識を背景にして、乳幼児の心理や発達、幼児教育の目標や内容、保育計画や制度、歴史などを総合的に学ぶ。さらに、乳幼児に接しながら実践的な体験を積み重ね、家庭・地域における子育て支援能力をもった人材を養成する。

（２）小学校教育コース

子どもの発達と発達障害ならびに人間の生涯発達に関わる理解を基盤とした支援ができるとともに、教科教育や学級経営にも強い優れた小学校教員を養成するコースである。教育課題を探究することを目指した教育課題探究分野「教育領域」、「心理領域」、「生活・総合領域」と、特別支援教育に重きをおく特別支援教育分野「特別支援教育領域」、教科に関する専門的知識を養う教科教育分野「国語領域」、「社会領域」、「数学領域」、「理科領域」、「音楽領域」、「美術領域」、「保健体育領域」、「技術領域」、「家庭領域」、「英語領域」がある。

（３）中学校教育コース

中学校教育コースは、確かな教科指導力をもつとともに、小学校教育との関連で中学校教育のあり方を理解し、子ども発達と発達障害ならびに人間の生涯発達に関わる理解を基盤とした支援ができる中学校教員を養成するコースである。そのために、中学校教諭1種免許状の取得に加え、小学校教諭2種免許状あるいは特別支援学校教諭2種免許状の取得を卒業要件としている。中学校教育コースには、「国語領域」、「社会領域」、「数学領域」、「理科領域」、「音楽領域」、「美術領域」、「保健体育領域」、「技術領域」、「家庭領域」、「英語領域」の10領域をおき、各教科の専門的力量的養成を図る。

教員養成の目標及び当該目標を達成するための計画

教育学研究科

■教員養成の目標及び当該目標

教職経験や学部における専門教育の上に、さらに専門的知識、高度な実践的指導力、研究能力及び倫理観・社会的責任感を育成することによって、多様化・複雑化する学校教育の諸課題の解決に寄与するとともに、地域文化の向上に貢献できる人材の養成を目的とする。

◆高度教職実践専攻

高度専門職業人としての教員養成に特化した専攻であり、学校力開発コース、授業力開発コース、特別支援力開発コースの3コースから成り立っている。

●学校力開発コース

学校力とは、確かな授業力を基盤として形成される力であり、自律的学校経営を支えるために求められる、学級経営力、生徒指導力、学校経営力などから構成される総合力である。こうしたテーマに関わる内容を多角的に学ぶことで、学級経営・学年団経営や学校経営などを含めた現代に求められる学校力開発の中核的役割を担う教員を養成する。

●授業力開発コース

教師がもっとも時間を割いて取り組む教育活動は「授業」であり、社会の様々な変化に応じて、授業で扱う学習内容も、児童生徒の実態も大きな変化を見せている。今の時代に求められる「授業」の姿を追究しながら、確かな実践的指導力としての授業力を養成することをめざし、あわせて、教科の本質を踏まえた授業開発、道徳教育や授業力向上等の学校課題解決に向け、教育実践を構想し開発するための展望と力量をもつ教員を養成する。

●特別支援力開発コース

特別な教育的支援を必要とする児童生徒は増加傾向にあり、これに対応することは、学校教育全体における課題となっている。特別支援教室「すばる」や附属特別支援学校等における指導事例の検討や実習、発達障害に関わる医療・療育機関等における実習など、演習と実習に重点を置いたカリキュラムを構築し、通常の学級に在籍する発達障害等のある児童生徒、特別支援学級、特別支援学校に在籍する児童生徒への指導支援を行い、特別支援教育に関わる校内体制を確立する要となる教員を養成する。

教員養成の目標及び当該目標を達成するための計画

法学部

■教員養成の目標及び当該目標

法学部は、「正義、人種、自由、平等といった基本理念、政治制度や法制度への理解、制度の実態や政策過程に関する理解」を備えた「公共的市民」の育成を教育理念・目標の一つに掲げており、こうした理念・目標のもと、全学の「創造的で人間性豊かな」「地域社会に貢献できる専門職業人の養成」という教育理念・目標と相まって、「社会」ないしは「公民」の教員を養成する事業に参画している。

各段階における到達目標は以下のとおり。

【1年次】

前期： 教科に関する科目として法学および政治学の入門科目を履修し、法学的、政治学的思考方法の基礎を理解する。あわせて、体育、情報およびコミュニケーション関連科目を履修し、身体および意思疎通の基礎的能力を身につける。

後期： 引き続き、教科に関する科目を履修し、上記の諸入門科目と関連する諸科目を履修し、法学的、政治学的思考方法の理解をいっそう深める。あわせてコミュニケーション関連科目を履修し、意思疎通能力をいっそう高める。

【2年次】

前期： 教育の基礎的理解に関する科目、および教育の基礎理論に関する科目を中心に履修し、教職の意義、教員の役割・職務内容、教育の理念・歴史、生徒の心身の発達および学習過程などについて理解する。あわせて、体育および憲法と関連する科目を履修し、身体能力を高めるとともに、人権意識を身につける。

後期： 教育の基礎的理解に関する科目に加えて、教科の指導法に関する科目を履修し、教育に関する社会的・制度的事項、特別の支援を必要とする生徒への理解、教育課程の意義および編成方法などを理解する。

【3年次】

前期： 教育課程および指導法に関する科目に加えて、生徒指導、進路指導及びキャリア教育に関する科目を履修し、公民の指導方法ならびに技術を理解する。

後期： 教育課程および指導法に関する科目に加えて、生徒指導、進路指導及びキャリア教育に関する科目を引き続き履修し、公民の指導方法ならびに生徒指導・進路指導の理論と方法を理解する。

教員養成の目標及び当該目標を達成するための計画

【4年次】

前期： 教育実習に関連する諸科目を履修し、教育実習（事前・事後指導を含む）を行う。

後期： 一連の科目を履修し、教育実習を行った者について、教職全般に関する総括的理解および実践的能力を養う。

教員養成の目標及び当該目標を達成するための計画

法学研究科(令和3年度入学生まで)

■教員養成の目標及び当該目標

法学研究科は、高度の専門知識と研究能力、その成果を実践的に応用できる力を持ち、グローバルマインドを備えつつ、高い倫理観と責任感をもって社会の発展に寄与できる高度専門職業人の育成を目標としている。本研究科は、こうした能力と素養を備えた、高等学校における教育研究の中核を担うことができる人材を養成することを目的としている。教職課程履修者は本研究科が開設している教科に関する科目のうちから最低24単位を修得する。

教員養成の目標及び当該目標を達成するための計画

経済学部

■教員養成の目標及び当該目標

本学部では、経済や経営の基礎知識を修得し、経済や経営の直面する課題の探求・解決に向けて他者と協働して主体的に考え行動する人材を育成するにあたり、定量・定性データの分析力、複眼的思考力、地域理解力、異文化理解力、チャレンジ精神、課題探求力、コミュニケーション力を身に付けることを目標にしている。本学部の教職課程では、経済や経営の直面する課題とその探求及び解決の方向性について確かな方法論とスキルをもつて的確かつわかりやすく教えることのできる教育実践力を身に付けた人材を養成することに努める。

■学部での教員の養成に係わる教育の質の向上に係る取組

教科の指導法に関する「商業教育法」、「商業授業研究」では、元商業高校教員を非常講師としてむかえ、実践的な講義を行っている。また、県内商業高校の協力を得て、「教育実習」を母校ではない地元の商業高校で行い厳正な指導を受けている。

教員養成の目標及び当該目標を達成するための計画

経済学研究科(令和3年度入学生まで)

■教員養成の目標及び当該目標

経済学研究科は、経済学領域の講義を中核に、それに経営学及び人文諸科学領域の講義を有機的に結合させることで、高度で実践的な専門的知識と論理的思考に裏付けられた分析力と判断力を備え、現代社会の複雑な諸問題に対して対処できる高度な専門的能力を持った人材の養成を目指している。専修免許取得の資格を有する学生には、免許取得の意思確認を行い、希望者には履修指導を行うことにしている。

■学部での教員の養成に係わる教育の質の向上に係る取組

経済学研究科は、大学院における各自の専門的研究の基盤となるよう、経済学及び経営学領域に関連する選択必修科目として基幹科目を設けており、そのうえで、経済学や経営学を専門とする教員の下で、指導を受けられる体制を整えている。

教員養成の目標及び当該目標を達成するための計画

医学部

■教員養成の目標及び当該目標

わが国の少子高齢化、人口減少、経済などの社会情勢の変動と多様化にともない、人材養成についての一層の期待が高まっている。人材養成を担う教育に対する国民の期待に応え、高い能力と高潔な資質を備えた教員の養成が必要である。特に養護教諭は、児童・生徒および教職員の多様な健康問題に的確に対応するとともに、学校保健の専門家として校内調整、関係機関との連携を適切に行う能力が求められる。

本学科の養護教諭の養成においては、看護の専門教育を基礎として、医療人の素養をもち、養護教諭として必要な専門分野の知識・技能を修得させる。さらに学校保健の質の向上を図るための教育実践能力と研究能力を育成し、学校保健分野において中核となる人材の養成を目的とする。

教員養成の目標及び当該目標を達成するための計画

医学系研究科

■教員養成の目標及び当該目標

わが国の少子高齢化、人口減少、経済などの社会情勢の変動と多様化にともない、人材養成についての一層の期待が高まっている。人材養成を担う教育に対する国民の期待に応え、高い能力と高潔な資質を備えた教員の養成が必要である。特に養護教諭は、児童・生徒および教職員の多様な健康問題に的確に対応するとともに、学校保健の専門家として校内調整、関係機関との連携を適切に行う能力が求められる。

大学院の養護教諭の養成においては、看護の専門教育を追求し、養護教諭として必要な専門分野の知識・技能を深める。さらに学校保健の質の向上を図るための教育実践能力と研究能力を育成し、学校保健分野において中核となる人材の養成を目的とする。

教員養成の目標及び当該目標を達成するための計画

創造工学部

■教員養成の目標及び当該目標

<創造工学科>

(認定課程：高一種免（理科）)

(認定課程：高一種免（情報）)

(認定課程：高一種免（工業）)

創造工学部創造工学科は、人々の多様なニーズに柔軟に対応できる個性豊かで付加価値の高い製品を創り出すことのできる人材を養成する。そのために、数理的基礎力、倫理、コミュニケーション力、地域理解力、デザイン思考能力、リスクマネジメント能力を身につけることを目標にしている。

本学科の教職課程（理科）では、特に数理的基礎力と専門分野の知識を活かすとともに、それらの工学的応用に関する知識を念頭に、基礎と応用の両面から理科を教育することのできる人材を養成することに努める。教職課程（情報）では、情報通信、情報システム、情報セキュリティの分野における深い知識を持つとともに、利用者や社会の要求や各種制約を勘案したシステム設計ができ、それらを教育することのできる人材を養成することに努める。教職課程（工業）では、工業の各分野における深い知識を持つとともに、利用者や社会の要求や各種制約を勘案した設計ができ、それらを教育することのできる人材を養成することに努める。

教員養成の目標及び当該目標を達成するための計画

工学研究科(令和3年度入学生まで)

■教員養成の目標及び当該目標

<安全システム建設工学専攻> (認定課程：高専免(工業))

高度な専門科目を受講し、応用力を身につける。特に、安全システム建設に関わる技術者として、社会基盤整備に関わる高度な専門知識と技術を習得し、それを実社会で活用できる。

<信頼性情報システム工学専攻> (認定課程：高専免(情報)(工業))

情報処理技術者として、または電子情報技術者として必要な高度の専門知識を見つけて、それを応用できる。

<知能機械システム工学専攻> (認定課程：高専免(工業))

高度な専門科目を受講し、応用力を身につける。特に、知能機械システム工学分野の専門技術に関する知識と、その知識を工学的問題解決に発展的に応用できる。

<材料創造工学専攻> (認定課程：高専免(工業))

高度な専門科目を受講し、応用力を身につける。特に、数学、物理学、化学等の高度な専門知識と技術を習得し、環境材料化学、機械材料科学、光・電子材料科学など専門分野を発展させ、新しい領域を積極果敢に切り開き、社会を豊かにしていくことができる。

教員養成の目標及び当該目標を達成するための計画

農学部

■教員養成の目標及び当該目標

<農学部 応用生物科学科>

（認定課程：中一免（理科））

（認定課程：高一免（理科））

（認定課程：高一免（農業））

農学部応用生物科学科は、「豊かな人間性と幅広い視野、課題探求能力を備え、生物資源の生産と活用に関する科学と技術を総合的に理解し、生物科学を基盤とする産業界で幅広く活躍できる有為な人材」の養成を教育理念・目標に掲げている。本学部は、こうした教育理念・目標のもと、「理科」「農業」の教員を養成している。

教員養成の目標及び当該目標を達成するための計画

農学研究科

■教員養成の目標及び当該目標

＜応用生物・希少糖科学専攻＞（認定課程：高専免（農業））

香川大学大学院農学研究科応用生物・希少糖科学専攻は生物学を基礎に、動植物・微生物等の生物の機能や有用性の食料生産、生命機能の開発利用、環境の保全等への応用及び本学の特色である希少糖分野の基礎と応用に関する高度な専門的知識と開発能力を備え、健全な社会の持続的な発展に向け、国内外の多様な生物産業関連分野で活躍できる高度専門人材の育成を目指している。この中で、生物学を基礎とした応用生物関連の諸領域を深く学んだ高い専門性を生かし、高等学校教育、特に農業の教科において活躍できる教員を養成する。

教員養成の目標及び当該目標を達成するための計画

地域マネジメント研究科

■教員養成の目標及び当該目標

地域活性化に貢献するリーダーを養成するため、一般的な MBA に地域の要素を加え、経営系と地域公共系を融合したカリキュラムを構築しており、地域の問題を的確に把握し解決する能力や、組織をマネジメントする能力などを身につけた人材の養成を目指している。専修免許取得の資格を有する学生には、免許取得の意思確認を行い、希望者には履修指導を行うことにしている。

■学部での教員の養成に係わる教育の質の向上に係る取組

専任教員は、経営・会計領域のみならず、地域科学・行政分野の優れた研究業績や実務経験を有する者からなっており、教育プログラムの充実を図っている。